

SHIN CLUB 227

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



今月のトーク/monthly talk

社会福祉法人児玉新生会 児玉経堂病院 撮影：アック東京

地域を支える医療療養病院

写真は、2期にわたる工事を終えて完成した世田谷区経堂の医療療養型病院「児玉経堂病院」です。

以前の建物は木造で、本館は大正10年、別館は戦後、新館は築40年とかなり古く、前々より行政から耐震構造並びに防火管理等の問題から改築するよう指摘を受けていたとのことでしたが、このたび竣工を迎えられることになりました。

母体は、結核患者のための隔離病棟でした。もともと荏原に本院があったのですが、戦争で焼けてこの経堂の地に移ってきたとのこと。当時はまだ住宅も少なく、牧場もあつたらしいの、どかな環境でした。しかし、戦後、周囲が住宅街になるにつれ、木造で古いこともあり「基本的には周辺へのイメージは良くなかった」と、児玉新生会理事の児玉慶隆氏は振り返ります。

昭和20年代まで、結核は日本人の死亡原因の第1位であり、その高い死亡率や感染力のために「不治の病」と恐れられていました。BCGワクチンの普及や生活水準の向上などによって、結核による死亡者・死亡率は激減しましたが、現在も毎年約18,000人が新たに結核を発症し、約1,900人が結核で亡くなっています。(政府広報オンラインから)

児玉経堂病院では、一部残っていた結核病床も6年前に廃止されました。全館完成で医療療養病床109床、将来的には一般病床11床を加えて120床になる予定で、外来診療の充実、更にはリハビリ室も広く設ける事で長期の入院が可能な医療療養型を主にした病院となっています。

「療養病床」とは、病院にある「一般病床」「療養病床」「精神病床」「感染症病床」「結核病床」という5種類の病床群の一つです。病気や加

齢などで長期の休養を必要としている人が対象で、慢性病の人が充実した医療ケアを受けられるというメリットがあります。

「療養病床」には「介護療養病床」と「医療療養病床」があり、それぞれ「医療療養病床」では医療保険、「介護療養病床」の場合は介護保険が適応されてきましたが、厚生労働省は、2017年度末で「介護療養病床」を廃止しました。理由は「医療の必要性の高い患者と低い患者が同じ比率で混在する」という統計に基づき、介護療養病床に入院する医療措置の必要性の低い患者を介護施設にスライドさせるためです。公的資金の見直し、医療現場の要請などがあり、2011年までに導入と言われてきましたが、これまで延期されてきた経緯がありました。

「医療療養病床」の児玉経堂病院は今回の建替えにあたり医療法の標準仕様準じて、以下のような必置施設を充実させています。

「一般病床」として、各科専門の診察室・手術室・処置室・臨床検査施設・エックス線装置・調剤所・給食施設・診療に関する諸記録・消毒施設・洗濯施設・消火用の機械又は器具。「療養病床」として、一般病床の必置施設に加え、機能訓練室・談話室・食堂・浴室、を設置。また、病床面積は6.4㎡、廊下幅も1.8m(片側居室)と法令通り広くなりました。

工事をしている最中も、病院運営のため、半分の建物で上記の施設を維持するという計画で、非常階段は屋内で2方向設置が求められるため、仮の階段室を中庭に設け、竣工後解体が行われるという具合でした。病院経営の面でもご苦労された工事が完了し、関係者の皆様は、新たな建物でのスタートに心を躍らせていらっしゃることでしょう。

(p3の座談会で児玉慶隆理事と設計の山内研氏、担当者油木啓裕氏に、工事を振り返っていただきました)

社会福祉法人児玉新生会 児玉経堂病院

2期にわたる工期で完成した医療療養病院

設計依頼があったのが2015年1月。各方面との調整を経て、6月に東京都の補助金を受けるための協議を開始し基本計画をもとに7月補助金申請、9月に認可を受けて実施設計へ。さらには2016年度内着工ということで設計にはかなりのスピードが求められた。施工者は要項に則り、入札を行い、辰に決まった。病院を運営しながら、1期、2期と分けての施工では、関係者、入院患者に細かい配慮が必要となった。

既存の建物には中庭があり、そのイメージを活かすとともに、経堂は道が狭く前面道路を広げることで街づくりに貢献することを考慮した。

建物自体はオーソドックスな形で、病室の広さや一部屋当たりの人数、廊下幅などを現行の医療法、関係基準を踏まえ計画している。またそれに伴い、バリアフリー法「高齢者、一障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」(平成18年法律第91号)の容積緩和も活用している。その結果以前よりもゆとりのある計画となっている。

当面病棟は109床で運営されるが、120床までの増床を可能にしている。ファサードは1階に配置した、診療室や受付、2、3階の病室などの必要なスペースを確保しながら、1階の外壁、2、3階の病室の境界壁を奥に引っ込めることで、面積調整を図りつつ凹凸感を持たせ、すっきりとしたデザインに収めている。

高齢者の施設として、特別な装飾や大きな吹き抜けなどの無駄な空間を作ることには好ましくないと思っている。当初の設計案で、ほぼ竣工まで進められ、建て主にもご満足いただけたのが何よりである。

(HOU 一級建築士事務所)



①東側正面入口。前面道路をセットバックし植栽を施している。2方向入口の片側には車椅子利用者のためのスロープを設けている②西側全景。こちらの面にも緑化を施し、街路を整備③1階受付④3階病室⑤1階機能訓練室⑥3階病室前のナースステーション。広くなった通路の外側に病室が連なるデッキが敷かれた中庭。中央にコンクリートの植栽ベンチを設けている。ベンチの座面に使われている洗い出しの仕上げは以前の建物のレガシー⑧屋上。西側には、富士山が臨める。植栽スペースをかなり設けて地被類を植えている。以前の病院でも中庭で園芸を楽しんでいたスタッフ達の憩の場となる⑨東側夕景。前面道路は小田急線経堂駅駅ビルの「経堂コルティ」北口まで80m。北側のすずらん通りとを結ぶため、地域住民が頻繁に利用する

所在地：世田谷区
 構造：RC造
 規模：地上3階
 用途：病院
 設計・監理：HOU一級建築士事務所
 施工担当：I期：綿貴、青山、斉藤
 II期：綿貴、大平
 竣工：2018年11月
 撮影：アック東京

児玉経堂病院の工事を終えて

座談会：児玉慶隆 社会福法人児玉新生会理事
+HOU 一級建築士事務所 山内研代表 + 油木啓裕氏

児玉慶隆氏

今月は、「児玉経堂病院」の建て主、児玉慶隆様と設計の山内研先生、担当の油木啓裕様に新しくなった病院で、工事の感想を伺いました。

—2期にわたる工事で建物を半分減らしながら、半分建築していくというのは、病院を運営される上でさぞ大変だったのではないかと思います。

児玉：ええ、入院患者が単純に減り、スタッフの仕事量は半分になってしまいうわけですが、単純にスタッフ数を減らすというのではなく働いていた回数減らすやり方で対応しました。

油木：病院を一度閉じるのは廃院手続きを取らなくてはならないなどの問題点があり、運営を続けながら、工事を行う方法を取りました。

—設計に対してご要望などありましたか。

児玉：ほとんど、ないです。お任せしました（笑）

山内：2015年の初めにお話があったから、7月に2016年度の補助金申請があるというので、かなりスピード感を持って設計しましたね。もともとの建物に中庭があったので、新しい建物もそれを出発点にしました。前面道路もセットバックが決まっていた、街に貢献できることはしていく姿勢でしたね。

油木：その中でどういうスペースを割りあてていくか苦労しました。最終的に120床を目標にしていきましたが、いろんな施設も盛り込まなくてはならなかった。

山内：我々は常にできるだけオーソドックスな形でデザインをしていくことを常としています。容積率はバリアフリー法に基づき、多少緩和を活用しました。以前は一人当たり4.3㎡だった病床面積も6.4㎡と増やし、今の医療法の標準仕様に合わせることで、6人部屋から4人部屋になりました。

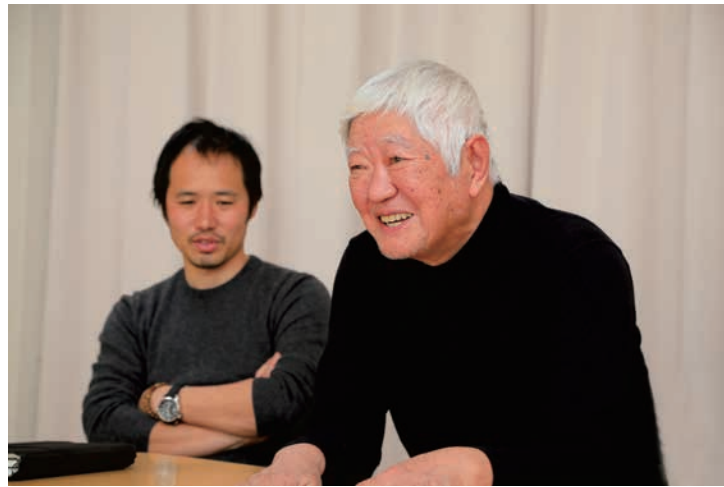
児玉：うちは、長期入院を可能としている療養病床型で、基本的にこういう病院は郊外が多いのですが、都市型でここまでであるのは珍しいかもしれませんね。絶対数は足りていないのが実情です。

山内：中庭は当初の提案より狭くなってしまいましたが、そこは必要なものとのバランスで、建物のファサードは、1階の必要な要素を維持しながら、上層階の病床分をうまく省くように凹凸感が生まれる形でよい表現にしたいと思っていますね。

油木：旧病棟では病室の窓を開け放たれて過ごされている、という印象がありました。雨の日でも少し開けられて患者さんが過ごしていた印象があります。

山内：そういう意味では、旧病院のイメージを、結構継承しているね。

油木：「患者さんが自分の家のように過ごされるように」というご要望もい



山内研氏（右）+油木啓裕氏（左）

ただいていました。

山内：そうそう、竣工して、父上の児玉健会長が「これなら自分も入りたい」と言ってくれたのが一番うれしかったね。普段会長は口出しされないけど、息があっていると感じました。

児玉：建築的にはイメージはお任せでしたが、実際は工事をしながら細かい打ち合わせをしていったということはありません。

油木：病院のスタッフさんも参加して、色決めやどこに何が要る、という意見を活発に出してくる感じでしたね。

児玉：1期と2期の工事が進む中、現場監督や職人さんが仕事している隣でスタッフがずっと一緒にいるものだから、だんだんコミュニケーションが良くなって、現場の人に直接頼むような感じになっていきました（笑）

油木：患者さんも窓から現場をよく見ていました（笑）

児玉：そういう意味じゃ、かなり一体感があってよかったと思います。

油木：普通の現場はこんな感じはあまりないですよ。

山内：あまりないね。

油木：皆さんのいう事を全部聞いていたら、收拾が付かなくなりそうですが、そこを会長さんがうまく手綱を引っ張ってくださって、まとめてくれたのが助かりましたね。

山内：それに長い工事なのに周辺の方々からは、建替えにご理解頂いていました。消防署なんて「やっとやってくれるか」という感じで、歓迎ムードだった。

油木：最初に事前相談に行ったときにも、「やっと建替えてくれるんですか。スプリンクラー付けてくれるんですか。消防の悲願でした」と非常に協力的でした。

児玉：でも整備してと言われても、古い病院なのでなかなか進まなかったことも事実です。それは良かったですよ。来週は、皆さんと打ち上げをやりようと言っています。

山内：ぎすぎすしてなくて、いい人が多いからよかった。楽しいものづくりができました。最近はマンションの建替え工事などの仕事も多いけど、大義がないとできないものです。本来わがままな人をまとめなきゃならないのは大変だよ。だから今回のような仕事はほっとする。辰もよくやってくれたと思いました。

—本日はありがとうございました。



屋上で、右から山内氏、油木氏、児玉氏

社会福祉法人児玉新生会 児玉経堂病院

院長名：片山 透

診療科目：内科、消化器科、循環器科、呼吸器科、リハビリテーション科

所在地：〒156-0052 東京都世田谷区経堂 2-5-21

電話番号：03-3420-1028 FAX 番号：03-5450-2398

外来受付時間

月～木曜日：9:00～11:30 13:00～15:00 土曜日：9:00～11:30

診療時間

月～木曜日：9:00～12:00 13:00～15:00 土曜日：9:00～11:30

休診日：日、祝、金



建替え前の建物。 左：東側全景 右：建物内、診察室廊下



「2019年度 株式会社辰 安全衛生協力会 安全大会開催」

2019年1月22日 於：渋谷ストリームホール

撮影：神谷渚

1月22日、渋谷ストリームホールにおいて、2019年度辰安全衛生協力会の安全大会が開催されました。安全衛生協力会は、辰と協力会社の皆様が無事故無災害を目指す活動を行うものです。今年の参加者は、102社114名、辰社員58名。渋谷ストリーム6階ホールの大きなスクリーンをバックに、新体制の幕開けにふさわしい式となりました。

第1部

安全パトロールなどの活動報告、決算報告、次年度活動計画・予算案承認、新年度役員改定（今年は全役員重任）に続き、安全作業所の表彰、安全標語入賞作品紹介が行われました。そして最後は社員代表による安全宣言と最優秀賞を受賞した標語を全員で唱和し、会を締めくくりました。



①安全衛生協会会長、小関邦昭 (株)小関工務店代表取締役より挨拶



②来賓挨拶。古賀智道 池田建設(株)代表取締役



③来賓挨拶。佐藤幸浩 (株)西洋ハウジング代表取締役



④来賓挨拶。平塚一之 (株)ライフポート西洋代表取締役



⑤「新年度役員」 昨年度より重任
会長：小関邦昭(株)小関工務店代表取締役
副会長：早田勇富士スチール(株)事業部長
幹事：小島成彦(株)小島鋼業代表取締役、富岡大和(株)トミヨシ商会代表取締役、吉崎英智(株)磯辺工務店代表取締役、鹿島正日南鉄構(株)代表取締役、高信正勝(株)創心建設興業代表取締役、柏崎俊彦(株)八重洲電業社開発営業推進部次長(欠)、会計：本卦照章(株)巴水道工務店代表取締役
監査：松田一良玉屋硝子工業(株)代表取締役



⑥安全作業所受賞者
Kaede 新築工事 所長 瀧澤亨 (写真左)、浦田プロジェクト新築工事 所長 讃井隆浩 (写真中央)、三宿2丁目プロジェクト新築工事 所長 村山貴 (写真右から2人目)



⑦安全スローガン (安全標語) 入賞者 12名

年間スローガン最優秀賞 (安全標語)

整理整頓 明るい現場 みんなで目指そう ゼロ災害！
瀬崎 憲次郎 (株式会社タカムラ)

第2部

会社報告は、森村和男より昨年末社長を退任し、会長に就任した挨拶に始まり、岩本新社長就任挨拶と続きました。冒頭に10年後の辰をイメージした「ビジョン」と企業としての社会貢献を意識した「志」を語りました。また経営方針として、「難易度の高い建築施工、シンボリックな公共工事の施工、リノベーション・コンバージョンなどの再生建築施工の受注を進める」と戦略を掲げ、そのために協力業者様との更なる連携を図りたいとお願いをしました。その後、優良協力会社、匠の発表が行われ、各部署の現況報告と営業褒賞授賞が行われました。



⑧社長を退任し会長に就任した森村和男



⑨新たな年度を迎え、抱負を語る岩本健寿社長



⑩優良協力会社
(左から)
松本木工(株)
(株)大山工務店
(有)ユニオングリーン
玉屋硝子工業(株)
(株)磯辺工務店



⑪匠 (左から)
(株)東真水道工務店
小出桂 様、
(株)横田工業
平宗光 様、
(有)美装開発
平山芳朗 様
(代理)



⑫営業褒賞
(左から)
マテリ工(株)、
タツマ電気工
事(株)、
(株)長田測量設
計事務所

第3部は、元サッカー日本代表の選手で現在指導者、解説者として活躍されている福西崇史さんにご登壇いただき、『モチベーションを維持し続ける秘訣～目標設定を明確化～』と題して、講演会を開催しました。

閉会後は、5階のホワイエに会場を移し、懇親会が開かれました。協力業者の皆様、今年度もよろしくご協力の程、お願い申し上げます。



⑬自身のサッカー人生を踏まえながら目標設定の大切さを語る福西氏



編集後記

・今年の安全大会の会場、渋谷ストリームホールは、昨年2018年秋にオープンしたばかりの施設。渋谷駅直結で2階からアクセスできる建物です。駅側のガラスファサードの吹き抜けを通して、エスカレーターからは首都高3号線が間近に眺められました。
(株)辰通信 Vol.227 発行日 2019年2月10日 編集人：松村典子 発行人：岩本健寿 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-8-10 TEL:03-3486-1570 FAX:03-3486-1450 E-mail : daihyo@esna.co.jp URL : http://www.esna.co.jp

「SHIN CLUB」はWEB上でもご覧いただけます。バックナンバーも掲載しています。
<http://www.esna.co.jp/shinclub>
スマホはこちらから →

